

1	同年代の子どもがいるため あまりにも非常な亡くなり方に胸がはりさけそうです。イッキ飲みや飲酒運転などの危険性をせめて我が子にはしっかり伝え、被害者だけでなく加害者にも決してならないようにと強く思いました。今回参加できて良かったです。一人でも多くの方々へ参加してもらいたいです。
2	事件は、ニュースになっている間は注目されるが、被害者の方々は、それから先長い人生が残っている。こういったなか、どんどんニュースは忘れられてしまうことから、このような機会をいろいろな所で紹介してほしい。
3	心が苦しくなる
4	胸が痛むような狂悪な事件から、加害者の不注意などで起きた事件まで いろんな事件がありますね。亡くなられたおひとりおひとりの あるはずだった未来を消し去ってしまうような事件は もう起きてほしくありませんね。このようにメッセージを伝えてくださることで、もしかしたら自分も加害者になるかもしれないという気持ちになりました。とても大切な活動をされていると思います。社会から犯罪被害がなくなりますように・・・
5	自分のこととして置きかえて考えてみると、とても悲しくてたまらなかったです。日頃から犯罪者は守られ、いつかこの世の中に出て行くことができるけれど、被害者の方やその家族の方達の人生はどうなっていくのだろうと考えることが多くありました。でも、自分に何が出来るのか？全く分からず自分や家族が犯罪者にも被害者にもならないことをただただ祈っていました。正直な気持ちとして、犯罪者の権利より、被害者の方々にもっともっと多くの配慮をして頂きたいと願っています。
6	とても見てられません。こんな事故・事件が起こりませんように祈ることしかできませんが、残された方達の幸福をお祈りします。
7	いつ誰にでも起こりえる内容であり、加害者への厳罰化と被害者への支援を手厚くしてほしい。我が子へ同じ事がと思うと恐ろしい。
8	犯罪被害者家族の怒り、苦しみ、悲しみが強く感じられました。特に交通事故・リンチ殺人などは絶対に許せない、と思いました。
9	事件、事故が風化しない様、良い方へ行けばと思う。
10	関心深く、実際亡くなった理由も詳しく書かれていて、身近でこういうことが起こっていないから自分は分からないが、急に事故に遭ったり、大切な人を失うのは辛すぎるなど思った。事故は皆起こってもおかしくない、全ての人が気をつけて命を大切にしないといけないと思った。
11	交通事故が増えている最近、人事ではないと感じます。
12	理不尽なことが多い
13	心が痛みました。

14	かわいそう。
15	人が死ぬのは悲しいです。知らない人でも、このように顔を出されると同情してしまいます。今日、明日、やらないといけないことがあるのに何てことしてくれるんだ・・・と思いました。
16	子どもにもこの事を知らせて、命の大切さを感じてほしいと思いました。
17	無免許の年少者による事故が目につきました。また いじめ問題も中高生によるものが多いと思います。大学での活動もさることながら、中学校、高校での活動を強めてもらえば、より効果的ではないかと思います。もっとも心の感度が高い時期でもありますので。
18	自分自身が大型トラックの乗務員なので、身につまされる思いでした。
19	自動車やトラックによる事故が多く、現在も高齢者による事故が増えているので、道路交通法がもっと厳しくなれば良いと思いました。
20	元気に生きている人たちが急に世界からいなくなること、考えるだけで悲しくなります。
21	並んでいる被害者の写真と靴をみていると、痛ましく思えた。加害者のうちの何割くらい過ちを犯してしまったことを悔いているのだろうか。悔いていないのならば、人間として許すことができない。
22	とてもわかりやすいので、このような取組を続けることは、とても重要と思います
23	なんともいえない気持ちです。
24	人生をまっとう出来ず、なんともいえないです。
25	自分がただ生きているなかで、このような現実を知らなかった。そのなかでも、亡くなった人が私から見て報われていない様子などがあって、その人たちのために何かできないものだろうかと感じたから。
26	何故被害者の方がいなくならなければならなかったのか、それは答えられないような気がした。
27	自分の周りには事故や事件に巻きこまれた人がいなかったため、被害にあった方たちについて考える機会が少なく、考えるきっかけにならなかった。
28	生きることが大切ですね。

29	車や同年代の被害者という、自分にとっても近い方々の展示は、ショッキングであると同時に 生きていることに感謝すべきだなと感じた。加害者の情報を見ても、仕方の無い事故ではなく、防げるものだと感じたので（難しいとは思うが）原因を減らしていけるような社会をつくるために、協力できることはないかと思った。
30	改めて生命は尊いものだと気付いたし、一日一日を大切にしていかなければと思いました。こういう被害者が減ることを願っています。
31	重いテーマだが、大切だと思った。
32	テレビ等の画面越しではなく生の実物を見ることで、その現実さを痛感しました。
33	実際の靴などを見て、改めて生命の大切さを感じることができました。
34	ニュースで見ていると、テレビの中の人とか実感がわかないでいたけど、実際の家族の想いや活動に初めてふれて、とても近いことだと実感させられました。
35	自分と同じ年ぐらいの人たちが多く亡くなっていて、とてもびっくりした。私も車を運転するので、気を付けたいと強く思った。とても良い機会になった。ありがとうございます。
36	加害者の厳罰を早急に深刻化すべきと思う
37	かわいそうだった
38	自分も子ども（成人）4人を育てましたが、いつも他人を傷つけぬ様に教育しましたが、亡くなられた方々皆様個々の人格があったんですね。
39	1人1人未来のある命が本人の望まない形で亡くなってしまうのは、本人や家族、周囲の方々にとって計り知れない悲しみと苦しみがあると思います。大きな力にはなれなくても「知る」ことも当事者の方々の慰めに繋がるのかなあと恐れ多くも思うので、これからも関心を持ち続けていきたいです。
40	人の命がある日突然なくなってしまうということを再認識した。こういった事件が起きないように再犯の防止、厳罰の強化、更生は必要だと思う。
41	靴の展示と流れる音楽によって「命の大事さ」と「悲しみ」が強調されました。
42	もう8年程前になりますが、和歌山市でのメッセージ展に参加しました。重大な事故、事件、まったく減っていないように思います。人の命の尊さ、いとおしさ、それが多くの人々の心に灯ることを願っています

43	決して、人の死に対して目を向けていなかった訳ではないし、今まで興味がなかった訳では無いが、この展を拝見させて頂き、自分の知らない場所、時間の中で、死ぬことよりつらい思いをしている人がいることに改めて気づかされた。
44	<p>護られる人権と、護られない人権が、制度という大義名分で区別され、存在している者（命がある者としての）に対する人権擁護が尊重されている。では、命を失った者の人権は、無関心のままなのか。当該者を含む周囲の方々の想いは押しきれない。そのような「無関心とされてしまう人権」を私達に周知して下さる活動は、すべてのこの世に存在する、あるいはもう存在しない者に対して、命の尊厳を、良い意味で生々しく伝える手段として、素晴らしいと思います。</p> <p>生存している者としての、加害者の人権が護られる、あるいは制度を上手く扱う人間がいるとすれば、その後のそれらの人間の人生の行方まで知りたい。他者の命を奪ったあと、世の中に対する考えを知りたいです。更生して、「償う」という言葉を痛感したのか、それとも・・・??</p>
45	特に京都の集団登校中の列に車が突っこみ幼い子が亡くなった事件は、ニュースで見ている時から許せなくて、今回の生命のメッセージ展で靴の展示があり、自分にも娘が居てるのですが靴が同じでしたので涙が止まりませんでした。自分がメッセージ展に来た時は人がそんなに居てなかったのも、もっと多くの人にこの事実を見てもらいたいと強く思いました。
46	残された人の気持ちになると、とてもつらいです。生命の大切さを知りました。なんだかんだ過ごしていても、事故や事件はすぐそこにあるんだなと感じました
47	愛しい家族を失った方達の悲しみがものすごく伝わってきました。等身大のパネルがとても臨場感もあり、胸がつまされました。事故や犯罪がなくなりますように
48	普段、医師として働いており、今回テレビでこの企画を知り来室した。通常業務で死と向きあってはいないものの、被害者の家族の声を聞くことはあまりない。今回そのメッセージを読み、その声を知り、再度 命の大切さを思い知らされた。
49	生命の大切さを改めて感じました。毎日真剣に大切に生きていこうと思いました。
50	罪を犯した人がどのような罪に問われ、被害者の家族がどれだけ悩んでいるのか知れて、貴重な体験となった。
51	事故でも状況によってもっと重い刑として使い分けべき。交通事故、少年法という枠からはなれた、判断基準を設けるべき。
52	刑が軽すぎるのが腹立ちました。もっともっと大きく取り上げて、考えていく必要があると思います。誰もが遭う可能性が有る事件、事故、ひどい現実を知りました。ありがとうございました。これからも、こういった活動を宜しく願います。
53	命の尊さを痛感した。許せない、殺人を犯した人間に未来を与える国はおかしい。
54	今日を機会にもっとこの問題について考え直したいと思い立ちました。

55	私は40才でやっと息子が出来、今は23才で大学4年生です。人の生命の寿命に長短はあれ、どんな人でも生きてきた使命があると思います。使命のない人はいない。残された方にとって、とてもかなしい事ですがその子たちのためによりいっそう強く生きて下さい。
56	なぜ人は犯罪をおかしてしまうのか？すぐ隣に危険があることがわかっているはずなのに・・・。
57	警察官側の立場では、被害者にまで目が行かないこともある。被害者のことも、きっちり気にかけていきたい
58	突然、奪われてしまった命を忘れないようにするための取組みをされていることが、胸を打った。
59	今は何気なく生活しているけど、今回の展示を見て思わぬ事故で命が奪われるということを知りました。被害者遺族のことを思うと無念な気持ちでいっぱいと思われます。本当に生命の重みを感じることできた内容でした。
60	青木悠君の内容を見て、集団暴行は許せない。
61	<p>①理由・傷ついた被害者の声をありのままに見てみたかった。加えて自分も車を運転するので他人事とは思えなかった。自分への戒めの意味もこめてである。いつ自分も被害者又は加害者になるかわからない。</p> <p>②意見・展示の順路がわからずたびたび他の見物者と接触してしまった。これ位の人数ならば問題ないが、テレビニュースで紹介されている以上今後、来場者も増えるであろう。その際、保安上の観点から運営方法を再考することを求める。次に展示物の文字の大きさである。展示パネルを被害者の等身大にしているため、非常に読みにくく字も小さく、位置も悪い。特に、新聞の切り抜きなどは、事実関係を把握するために非常に重要だ。これを読みにくくと正確な内容が伝わらず、読み手も疲れて読んでくれず、せっかくの展示の機会がムダになる。なお私は中腰になり、片ひざを付いたりしながら、全て読んだ。だからこそ言える意見だと思う。今後はリーフレット配布し、そこに文章をのせていただけないか？そうすると文章と遺影が別の位置になるので、かえって遺影の表情が映え、より来場者に訴えるものが強くなるであろう。</p> <p>③感想・おわかりだと思いが、被害者らの心の傷が治ることはない。そして法律のカベが存在する。もし法律を変えるなら、多数派を形成するしかない。そのためには、多少ドラステックに演出し民衆を味方にするしかない。この活動が、少しでも社会法益の一助になることを願ってやまない。</p>
62	普段、ニュースで事件や事故があっても、どこか人ごとだったが、今回数多くのパネルを見て、悲痛な思いが伝わってきた。1人でもこういった被害者がへるようになんかしないといけないなあと感じた。
63	先週祖母が亡くなり、生命のおわりを感じていた時に生命のメッセージ展を知り見にきました。ニュースなどで亡くなった方の事を知っているつもりになっていましたが、ここに来て書かれている事を読み、本当は何も知らなかったと思いました。今日生命のメッセージ展にきてよかったです。
64	死に対して、何が最もふさわしい罰かを考えねばならないと思います。
65	理不尽な形で命を失う方がこんなに多くいらしたということ、恥ずかしながら初めて知りました。被害者や残されたご家族の無念さは察して余りあります。もっと多くの方がこの実情を知り、命を守ることを真剣に考えるべきだと思いました。



66	ご遺族のやるせない思いが伝わって、とても悲しいことだと実感しました。加害者が少年であったり、証拠不十分できちんとした罰が与えられないのは、ご遺族にとってとてもつらいことだと思います。
67	多くの方の生命のメッセージを拝見して、生命の大事さを改めて実感しました。
68	子どもが居るのでいつ自分の子どもがそうなってもおかしくないと思い、胸が締め付けられました。被害者遺族の方々の思いが少しでも楽になれますように。
69	今回はミニメッセージ展でメッセージの数もいつもより少なかったけども、初めての人もおり、改めて生命の大切さ、交通事故の恐ろしさを痛感しました。今後の機会があれば参加したいと思います。
70	方策、法整備など、困難ではあるがゆえの部分に対する取り組みも、合わせて知っておきたいと思います。
71	危険運転、アルコールの一気に飲みなど、事故には至らなかったものの・・というような身近な話も多い。「自分の身のまわりではまあ起こらないだろう」と思ってしまいがちな気持ちもなくなはしないし、なぜかなくなるような気がする。
72	私の父が交通事故で亡くなっています。残された家族の精神的、経済的ケアを充実させて欲しいと切に願っています。
73	ご家族の気持ちが痛かった。まだまだ生きてたであろう個人個人の命の尊さを重く受け取めた。
74	不慮の事故で亡くなった人、特に若い若い人達の多いことと、悲しむ人が多い事を再確認した。
75	本人の志が断たれたこと、残された身内のいつまでも消えない心の痛みは、もっと学校現場で若い頃から学ぶべきだと感じました。
76	なんの落ち度もない子どもたちが、無茶な運転、信号無視などで命を落としていることがすごく悲しいです。もし自分の子どもだったらと思うと、胸が張り裂けそうです。私自身、5才半で妹を亡くしています。その子がどんな大人になってどんな人生を歩んでいたのかと思うことが時々あります。亡くなった子のご両親も同じ気持ちだと思います。1人1人が交通ルールを守り事故をなくしていかなければならないと思います。
77	自分の我子、孫だったらと思うと・・・自分自身も交通事故等、本当に気を付けたいとつくづく思いました。
78	今の法律は加害者に優しすぎる。国民のほとんどが思っている事なのに。国民の納得できない法律は、本当の法律じゃない。弱い立場、加害者の立場、声を聞いて守るのが国の役目じゃないのか？

79	新聞、TV、etcで知るよりも、よりリアルに知ることが出来ました。若い命を理不尽に奪われた人達の事を思うと、何かもっと出来ることはと考えさせられた。生命の赤い糸を繋いでいたのは被害者のお母さんと聞き驚きました。息子さんの死がどれ程辛いもので、それを背負って心がとても痛みます。本当、人生は何が起こるか分からない事を強く感じました。
80	私も若い時は苛めで辛い事がありました。でも生きてて良かったと思うけど、殺された人は無念で足りません。
81	息子は集団リンチを小3で受け、今もその事が思い出される様で苦しんでいる毎日です。親として無かった事にしてあげたいという思いを遺族の方も持っているだろう・・・と思い他人事ではないと思った。自分の命の終わりが他人の手によって終わらせる思いを、今生きる人達が想像して生きていかないと、何度も何度も繰り返されるのだらうと思います。
82	大切な家族を突然失うことというのは何事にもまさる辛い出来事で、このパネルメッセージを見させて頂き胸が痛くなりました。私だけでなく、一人一人が心にとめて生きていきたいと強く感じました。
83	普段生活をしていると気にも止めないが、いつ自分の家族が同じ立場になるかも知れないと考えさせられました。何が出来るという訳でもないが、こういうメッセージ展があったと周りの人に知らせ、これからも気に止めるという事が大事ではないかと思った。
84	被害者の声が届かない
85	理不尽に生命を奪われた方の家族の思いが良くわかりました。
86	理不尽な事がこんなに沢山起こっている事に心が痛く、涙が出そうになりました。加害者や今後加害者になりかねない人にこそ、このパネル展やこの様な現状を知ってもらい、考え方を改めてほしいと思います。生命の大切について、子どものうちから全員が感じる事ができる世界になってほしいです。
87	涙で字が読めなかった。
88	私も車を運転しますが今後も注意していきたいと思います。亡くなられた方達の無念、残された方々のやりきれない思いが伝わってきました。
89	胸が痛みました。
90	テレビや新聞などで日々死亡事故のニュースが報道されていますが、画面や紙面越しではどうしても実感を持ってその情報を受けることが中々難しかったと思います。しかし、今回の展示会ではご本人のご家族のメッセージ、写真、そして故人が履いていた「本物の靴」、これらが確たる実感を伴った事実をして強く訴えかけてきたように感じました。
91	悲しすぎて全部見ていられなかった。

92	自分も人の親です。どんなに辛かったか。それは一生消えることのないものだと思います。きっとどんなカウンセリングを受けても癒えることないでしょう。ご冥福をお祈りいたします。
93	いじめがなくなるように動いて欲しい。介護に関わっている為、障害者に対する理解を深めてほしい。（なりたくてなったものではないから。）
94	突然に生命が絶たれるというのは大変な事で、それが事故・事件になると私の想像で超えるものだと思います。実際にその立場になっていない人間がどんな事を考え思いを巡らすことができるのか…。言葉として表現する事は難しいです。ただ、誠実に生きていかなければならないと思いました。ありがとうございました。
95	何時だって自分の周りには危険があるんだと思った。今年、大学生になって、同世代のパネルが多くあるのを見て、今を大切に生きるという事を決心しました。一日一日楽しんで、大切に生きていきます。
96	私は2年前に会社でパワハラを受け、1年半休職しました。約1年は死ぬことしか考えられず人生を終わらせることばかり考えていた。休職して8か月のとき、精神障害者が集まるセミナーで一人の女性と出会いました。その人も自分と同じ悩みを持っていてなんとか復職したと喜んでいました。しかし、戻った職場の上司は何も変わっておらず復職して3か月後に自殺をしてしまった。何故、彼女は死を選ばなくてはならなかったのか。愛する人を返してほしい。そんな気持ちを持ったまま自分は過ごしてきました。会社が彼女を殺したと。自分が復職してからも自分の上司は何も変わっていませんでした。でも、自分は彼女の分まで生きて決めて此処まで来ました。昨日のテレビでメッセージ展を特集していて、ここに来ることを決めました。内容は違えど亡くなった人のメッセージやご家族のメッセージを伝えることは大切なことだと思います。これからもこのようなメッセージ展を続けていけたらと思います。
97	まず第一に「命」への見方が変わったように思います。文で書くには上手くできませんが、とても悲しい気持ちになると同時にありがたい気持ちになれました。ありがとうございました。
98	いつも一番大事な命と何気なく言っていたけど改めて命の大切さを感じた。
99	子どもに命のもらさ、大切さを少しでも感じてほしくて連れてきました。ですが、私の知らないところでいろんな事故などで殺されている人達を知りました。私も車を運転するときもっとしっかり安全運転することにしようと思います。
100	以前にも拝見させて頂き、毎日、仕事でハンドルを持つものとして肝に銘じておかなければならないと思っています。普通に生活をされていた人が私達運転をする者の一瞬の判断ミスでその人以外の周りの人、又私の周りの人の人生を変えてしまうことはとても怖い事です。その為に前回に続いて今回も赤い糸を頂き、自分への戒めも込めて又ハンドルにくくりつけようと思っています。最後に運転者はもちろんですが最近危険な歩行者が増えています。共に安全に譲り合える心を持つ社会に…。
101	今回始めてパネル展に参加しましたが事故、事件当時の皆様の背丈がパネルの高さになっていることを知り、皆様の事を深く考えられることができました。もしご存命であれば、私と同じように大学生となる。同世代の方々、またその当時、私と同じく大学生であった方のパネルを見て、決して他人事ではなく、私達の全員が重たく捉えなければならぬ事を痛感しました。被害者支援といってもまだまだ知らない事が多く、いざ自分の周りの人間が、家族が、犯罪に巻きこまれてしまったら、どのようにケアをしていけばいいか、接すればいいか、分からない方も大勢いらしゃると思います。大学生の中でこのように、大学生の近くでこのような企画を行うことに意義があると思います。この度は、この大阪府立大学で開催して頂き、ありがとうございました。



102	事故件数〇〇件とみると「少ない」「多い」としか感じないけれどもその中には一つ一つには人間の人生が詰まっているということを感じた。悲しい思いだけでは何の解決にもならず、私も改正法・厳罰化を訴えていきたいと思った。
103	生命のメッセージ展を見て亡くなった人に伝えていたのが関心深かった
104	自分自身の息子が交通犯罪で命を奪われました。ご遺族の気持ちが痛いほど伝わってきました。誰もが加害者になりうる車社会、1人1人が凶器を運転している自覚を持たなければなりません。
105	こういった交通事故を許している社会を正したい。
106	犯罪被害者を知るきっかけになった。もっと、たくさんの人の目に触れる場所に展示してほしい。
107	何の罪もない人たちが命をうばわれているのでとても悲しいと思ったし、加害者側は今も普通に暮らしていると思うと胸がくるしくなった。同じくらいの年齢の人がいれば、もっと小さい子までいて、人生これからというときに亡くなってしまっていたのでとても悲しかった。今回、生命のメッセージ展に来て、改めて命の大切さを知ることが出来た。今後、このようにして亡くなってしまうことがないような世の中になって欲しいし、していかなければいけないと感じた。
108	パネルに書かれた文字からは、悲痛な叫びが伝わってきた。当たり前だったはずの日常を、夢を、未来をなぜこんなに不条理な形でうばわれなければならないのだろう。無念さが胸を支配する。しかし、言葉からこちらが汲み取ることが出来る想いは実際のほんの一部にしか過ぎないだろう。遺族の心の中には、いつまで経っても消えぬ想いの叫びがこだまするのだ。そのことに気づき、また一層やるせなくなった。
109	納得のいかない裁判でたくさんの方が苦しめられている事に心が痛みました。日々ニュースを見てても思う事があります。もっと犯罪者に厳しくあって欲しい事件が多すぎると思います。自分自身も車を運転しますが気を付けたいとも思います。そして子ども達が大変な事にまきこまれないように願いたいと思いました。
110	以前からぜひ見学してみたいと思ってましたが今日こういう展示を拝見させていただいてとても勉強になりました。我が家にも大学生になる娘がいますが車の免許をとり、これからハンドルをにぎることになるとと思いますが、この事実を十分に話して聞かせたいと思います。私たちすべての者が明日、同じ立場になるかも知れません。今まで以上「今生きることを大切にしていきたい」と思います。
111	初めて観させて頂いたが涙が出て、つらい大変な思いで残された方がくらしとおられるのは、私には計りしれないと思います。
112	様々な状況でたくさんの方々が命を亡くされていることを知り、重たいような腹が立つようなやるせないような悲しいような・・・とても複雑な気持ちになりました。同じ社会で生きる1人の人間として、そのことを知っておかないといけないと感じました。
113	その人のその先も当然続いていくと思われていた人生が、突然閉ざされてしまうというのは無念だと感じる。今も加害者が、どこかで生きていと思うと、胸が苦しく思う。家族や周りの被害者を思う人々が死を受け入れ忘れるわけではなく、整理ができた状態で心の中で生かし続けてあげてほしいと強く感じる。

114	被害者の方やご家族の方々の無念の心が心に響いてきました。“いのち”の尊さを今の時代で伝えていく為には、このような展示を全国各地の学校でもやってほしいと思いました。私の自分の寺院でこの展示をしてみたいと思ったので、もっと色々なことを学んで実現できるようにしたいと思います。亡き人の声を無駄にせず、生きることの大切さ、いのちの大切さ、人の命を奪うことでいかに多くの人が悲しむかを伝えていくことを、展示されているメッセージから強く感じました。
115	新聞、ニュースでは表面的にしか伝えられていない、犯罪被害者等の思い、「誰かの都合」の良い情報、正しい事を知る必要があると思った。
116	3才3か月で亡くなってかわいそうだった。
117	初めて参加させていただきました。TVでの報道等で毎日のように事故、事件を目にし、しかしそれらは記憶に残ることはない。被害者家族の方々は、一生のがれる事はできないのですね。それを考えると泣けてしまいました。
118	以前、TVで取り上げられているのを見た事があります。犯罪のニュースが毎日、TVで流れていますが、加害者の人権を守る傾向が強いことに、日々疑問を抱いていました。最近でこそ少しずつ被害者遺族にも目を向けているようですが、現実はまだまだ納得のいかない判決であったりしますね。これからも、なくなることはないと思われる犯罪、万が一被害者になってしまった時に、このような支援活動は、大切だと思いました。何かの形で、お手伝いできることがあれば・・・と思いました。
119	TVで府立大学で生命のメッセージ展をしているのを知って関心を持ちました。実際に来てみて、胸が苦しくなる思いです。 私自身、子どもがいて、もしかすると被害者になるかも知れないと考えると、ここに展示されている方々の気持ちが痛いほどわかります。
120	人の生命の大切さというものがよくわかった。
121	命は大切、だいにしなだめだなど知った。いつも、ききはとなりあわせ。
122	当たり前のように、毎日ニュースで見聞する事故や事件、もっと深く感じて、出来ることをしたいと思います。もっと、もっと広げて下さい。
123	被害者の事を短くまとめられていましたが、これだけでは言い表せない位の気持ちがあったと思われます。私たちが、今後、加害者、被害者にならないようにする為にも、周囲に気を配り、困ったときは相談し、生きていく必要性があると思いました。
124	今、生きていることが、どれだけ素晴らしいことかと強く感じました。 いつ、自分が出会うかわからないということ、被害者になるか、加害者になってしまうかもしれないこと、忘れずに過ごしたいと思いました。

125	犠牲になる人は、いつも弱くて、優しい人ばかりです。交通事故は、特に自ら気を付けていても、すぐ近くにあるもので、防ぐことは無に近いだろうけど、車、自転車、人（歩行人）が、どんなに気を付けていても、決して無くなることない、永久のテーマをいつも考えさせられます。
126	人の行為によって、人の命が奪われることがあってはならない。 自分自身も、車の運転で、加害者にならないよう気を付けようと思った。
127	今こうして、自分や家族が笑顔で過ごせていることが、どれだけ幸せなのか感じたし、事故の恐ろしさを知れてとても勉強になった。もっと、法が、厳しくなればいいのと思った。 被害者の方と遺族の方々が幸せになれますように。来世では、笑顔で過ごせますように。
128	最近であっても、想定以上に軽い刑罰に驚いたとともに憤りを覚えた。 加害者側は、嘘をついても、証言を変えても、何を言っても良い方向に解釈されるという裁判の判断のあり方に納得がいかない。
129	普段の日常の生活が、突然こわされること、、それは、どんなに苦しく悲しいか、当事者にならないとわからない。生と死は、いつも隣り合わせである。一日、一日を大切に生きたいと思います。 小、中、高校のPTA向けの勉強会などで、開催してほしいです。
130	ご遺族の方々のことばひとつ、ひとつが胸に重く突き刺さりました。自分が今住んでいる自治体で起きた事故もあり、決して他人事ではないと、感じました。 また、交通事故で小さい子が亡くなるのが、こんなに多いのかと気づかされました。車を日頃から運転する身として、改めて身を引き締めてハンドルを握らなければならないと感じました。
131	改めて事故の怖さを感じました。自分では事故を起こさない様に気をつけていますが、見落としている事もあると考えます。自分、家族だけでなくすべての人に思いやりをもてる運転、生活を心掛けていきたいと思い行動していきます。
132	普段の何気ない生活で命をうばわれたので悔やんでも悔やみきれないと思います。自身も今の状況に（幸せにくらいしている）事に感謝しないといけないと思いました。
133	大切な自分の家族の命の事を考えるととても良いきっかけになります。犯罪やいじめ、交通事故でうばわれる命が一人でも無くなるように、社会全体で考えなければならない事がたくさんあると思います。
134	常日頃のニュースを見ても飲酒運転による事故、あおり運転による事故が後を絶ちません。制度（過失運転致死）適応前に亡くなられた方は加害者の軽い刑に憤りを感じることでしょう。今後も「死人に口なし」の被害者に代わって、活動を続けて頂きたいと願います。決して、屈したりしてはいけません。
135	身近に感じ、心が痛みます。

136	自分と全くつながりのない「不特定の個人」が被害に遭ってきた事実が簡潔なデザインの展示からよく伝わってきました。会場の作りが良いと思いました。
137	初めて見たのですが、これだけ多くの人達が「無念の死」をしている事に驚きました。これも「何かの縁」だと思いますので自分なりにこの件について知っていこうと思います。
138	同じ子どもをもつ親として正直涙が出そうになり、ゆっくり見ることはできませんでした。言葉では言えない、そのような事が伝わりました。
139	T Vで拝見し、子どもの通う大学でのメッセージ展という事で、是非にと思い、伺いました。メッセージ展がある事で周知・啓発にもっと結びつけられる事を願います。亡くなられた皆様には、ご冥福をお祈りします。
140	自分も運転します。相手の動き、注意はお互いしている様ですが事故は起こるし、激増しています。何故、減らないのか。きっとこれからずっと考えていく事になるでしょう。
141	他人を思いやる気持ち、他人の心と身体の痛みを想像する力があれば、奪われることがなかった命ばかり。その事実が悔しい。
142	理不尽に命を落とした方のメッセージは涙なしでは見られませんでした。こんなことがないように、法の見直し・改正などして安心して過ごしていける世の中にしていかなければならないこと、あらためて思いました。
143	知る必要があることを、教えて頂けた。
144	今回は、大学での開催のためか、若者のメッセージが多かった。自分の子どもたちが同じ歳になったり、近づく、より感じるものというか、考えさせられるようになったと思う。私は加害者側の処遇に関わっているが、定期的にメッセージ展は見に来たいと思っています。自分の働く姿勢や考え方を見直す本当に大事な機会だと思っています。今回もありがとうございました。
145	パネルを見ていて、あまりにも加害者人権を大事にしすぎている。被害者は死に損ですね。アメリカのような罪刑を強く望みます。（懲役294年とか・・・）
146	申し訳ないかもしれませんが、生前履かれていた靴を置くのは少し怖かったです。
147	非常に許しがたい事件でした。なぜ犯罪などが起こるのか不思議でたまりません。犯罪というのはどう改善しなければいけないのか考えていく必要があると思います。
148	交通事故、いじめなど、無くさなくてはならない絶対に。刑罰の軽さは理不尽です。もっと大きな力にして刑罰を変えなければ。来て良かったです。みんな安らかに。

149	何を指針に人間は生きればいいのかわからない社会。人の気持ちを考えることができない自己中心の荒さんだ心。確かな思想、哲学、宗教が必要です。小学校から大学まで道徳教育を一貫すべき。
150	自分の息子と同世代の死、やるせない気持ちと、腹立たしさでいっぱいです。
151	自分自身が10数年ぶりにペーパードライバーを返上し、車の運転を再開しはじめたところだったので、気が引き締まる思いでした。一瞬の気の緩みが、誰かの命を奪ってしまうということを肝に命じて運転しなければならないと思いました。
152	いつ自分が被害者、加害者になってもおかしくない事を強く感じました。
153	年齢によって亡くなられた方が偏っていると思いました。小さいお子様は事故、中高生はいじめやリンチ等。でも残されたご家族の方で一人として亡くなった身内に対して、死を受け入れている人がいないと言う事を知りました。
154	詳しく知るのは怖い。でも、苦しんでいる人のことは広く知らせていかないといけないと思う。
155	その後の出来事、大変な事、事件が終われば終わりではない事。すべての事件、事故に思う。メディア、ニュースでとりあげられる一部の情報だけでは終わらない当人のその後や、心についてもっととりくむ事が、あるはずだと思う。
156	関係もなく他人が他の人を殺したり、リンチやいじめがあり、世の中はダメだなと思った。もっと平和な世の中になってほしい。イジメもなくリンチもない平和な世の中に
157	事故、過失、いじめなど、どのような言葉に置き換えても全ては“犯罪”である。法律を見直し“再犯防止”につとめるべき。 (国の仕事)
158	理不尽に生命を奪われた人たちの理不尽な理由に腹がたち、疑問を感じる。
159	初めて来させていただきました。何と言って言いか分かりませんが私も子を持つ親の立場からも、交通事故の持つ重みを今一度考え、安全運転をするよう肝に銘じました。私はなにもすることがありませんが、今後ともセンターの行動には注視し、私にできることは何か考えていきたいと思います。
160	自分の娘と同年代の人を亡くされた家族の苦しみが伝わってきました。
161	100件/日の交通事故が発生しているということで、子供たちには、外に行く時にはしっかりと立ち止まっての確認を再度教育し、自己防衛をしっかりして欲しいです。



162	私も車を運転しますが、どこか交通事故は大丈夫と思っていました。違反すれすれの事をした事もあります。でもこうやって運転者の一人よがりの運転でこれからの人生、幸せをうばわれた方々を見て、知って、車の運転をもっと気をつけようと思いました。車はたしかに便利ですが、運転する人のさじ加減で凶器にもなるのだ、と強く思いました。これからはもっと交通ルールをしっかりと守ります。
163	犯罪を犯しておいて明るい未来があるって理不尽ですね。暗くても生きれるだけうらやましいと思う。死んでしまった人は。
164	和歌山大学の学生さん（教育実習生さん）のところが、自分と重なって、何とも言えない気持ちになりました。一日一日大事にしたいと思いました。
165	一言では語りきれませんが、命は本当に大切だと思いました。身内が事故にあって辛い思いをしたこともあり、無謀な理由などで命がなくなることは、人ごとではないと思いました。